

オプトアウト用情報公開文書 1（単施設研究）

1. 研究課題名	鏡視下子宮全摘術の腔切開時に経腔的カメラ観察を併用することの有効性
2. 研究の対象	2025年8月～2026年2月に当院で鏡視下子宮全摘術を受けられた方
3. 研究目的・方法	<p>【目的】鏡視下子宮全摘術の腔管切開時において、腔管切開時に経腔的カメラ観察を併用することの有効性を調査する。</p> <p>【方法】当院で実施した鏡視下子宮全摘術を行った症例を対象とします。切開ラインに差がある症例がどの程度の割合存在するか、経腔的カメラ観察の有無で解剖学的に正しい切開ラインに差が生じるのか等を分析する。</p> <p>【期間】施設承認～ 2026年9月30日（□延長の可能性あり）</p>
4. 研究に用いる試料・情報の種類	情報：病歴、カルテ番号、画像検査結果、手術映像 等
5. お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2026年5月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 市立貝塚病院 産婦人科・市川冬輝（研究責任者） 〒597-0015 大阪府貝塚市堀3丁目10番20号 TEL:072-422-5865 FAX:072-439-6061</p>